

認知症のある人の社会参加普及啓発動画 制作企画案

1 企画概要

本動画は、西東京市が、認知症のある人の社会参加を、まち全体で促す普及啓発を目的とする。

令和6年1月1日、「認知症基本法」が施行された。このことは、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる社会を目指すための大きな一歩である。しかし、現実には、「認知症＝何もできなくなる」「支援されるだけの存在」といったこれまでの認知症観が強く残っている。

「認知症のある人も、特別な存在ではなく、市民の一人として暮らせる社会にしたい。」

「誰もが認知症になっても役割を持ち、希望を持って生きられるようにしたい。」

そのようなまちづくりを目指す市の方向性に基づき、認知症のある人が地域の中で活躍する姿を伝えることを目指す。

2 企画の目的

本動画を通して、以下の3つを主に伝える。

- (1) 認知症のある人の「できること」こと。
- (2) 社会全体の意識を変える必要性（新しい認知症観を広める）。
- (3) 認知症のある人の声を直接届ける。

3 動画制作案

(1) ストーリー案①

＜認知症のある人が「市民の一人」として生きる社会＞

(ストーリー例) 認知症になっても働くAさん

(2) ストーリー案②

＜「認知症のある人が活躍できる場」がある社会＞

(ストーリー例) まちのイベントを運営するBさん

(3) エンディング案

(ストーリー例) 認知症になっても、この街で暮らし、働き、役割を持ち、感謝される。

「私たちは、こんな社会で生きていきたい。」

4 動画の活用方法

- (1) YouTube で公開
- (2) 市や事業所のHP、SNS で発信
- (3) 市内イベントや講座の休憩時間に放映
- (4) 駅や公共施設での放映